

発行

株式会社 エスクリエイト

名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前KDビル4階

TEL: 052-222-3600 FAX: 052-222-3699

URL: <http://screate-soft.co.jp/>

担当: コンサルタント 石垣 智博

tomohiro.ishigaki@screate-soft.co.jp

「非日常を感じよう！」

仕事をしていると、考えが行き詰ったり、殻を破れない状況が続くことがあります。(もちろん、筆者もです) また、5月病という言葉があるように、この時期は新年度を迎えて、仕事の環境が変わり、慣れない仕事を覚えたりしなければならず、疲れを蓄積している方が多くいると思います。

そのような状態では、良い仕事はできません。心身をリフレッシュすることが必要だと思います。

仕事とは全く関係のない所に出かけたり、体を動かすことでリフレッシュできるものです。

さらに、仕事とは関係のない世界を知ることで発想の転換ができ、行き詰った状況を打破できるかもしれません。

5月のスタートはゴールデンウィーク(GW)です。英気を養って、GW明けに備えたいですね。家族サービス・旅行・ゴルフなどでヘトヘトになるのもGWですが・・・。

よって、今月号はGWに関連した話にします。GWはどこに行っても混雑していますが、積極的に「お出かけ」をして、非日常を体験してはどうでしょうか。(もちろんGWが終わってからゆっくり出かけるのも良いと思います。)

◆筆者のリフレッシュは城を訪れること

筆者は城マニアでもないですし、城がとても詳しいわけではありません。ただ単に城を観るのが好きです。まとまった時間があると近隣のお城に出かけます。もちろん、国宝級の城以外にも訪問します。お城と言えば、天守閣をイメージされる方が多いと思います。確かに、天守閣は象徴であり、迫力があって美しいです。

しかし、城を構成しているのは天守閣だけでなく、櫓、御殿、堀、塀、橋、石垣、樹木などなど見るべきものがたくさんあります。例えば、「松が多く植えられているのはよほど戦に備えているのだな」(松の実を非常食にしていたようで

す)「この石垣は野面積みなのでちょっと時代が古いのかな」「この橋を壊せば敵の侵入は難しくなるな」など色々面白いです。

城自体を観るだけでなく、城からの眺めも好きです。遠くまで見える景色や城下町となった街並みは壮観です。殿様になった気分です。

さらに、最近になって知ったことがあります。それは、城を訪問する前に、その城の「歴史」を少しでも調べて訪れると、もっと楽しいことがわかりました。

◆城の歴史を知るともっと面白い

明確に区分出来ないこともありますが、城の歴史には2種類あります。1つは成り立ちです。例えば「誰が指揮して建てたか」「どのような思いがあってその形になったのか」「何時の火災で天守閣が焼失したのか」「城の存続又は再建に尽力をした人」などです。言うなれば城の履歴書です。

2つめは城にまつわる歴史です。例えば「天下統一の野望(岐阜城など)」「戦国武将が攻め入ってきて悲劇が起きた(岩村城など)」「戊辰戦争で激戦になった(会津若松城など)」などです。

お城の外観・建て方などを見て「すごいな」「立派だな」「よく建てたな」という感想が一般的だと思います。筆者もそうでした。しかし、城にまつわる歴史を知ってから訪れるとそれとは違う感じを覚えます。例えば、征服した戦国武将になったつもりで訪れるのもいいですし、征服された城主の気概を知って訪れるのもいいです。

そうすると、表現するのは難しいのですが、感慨にふけるというか、しみじみと感じるものがあります。また、城からの眺め方も少し変わります。

眺めが変わった経験として、犬山城(愛知県犬山市・国宝)を訪れた時です。木曾川沿いから見る天守閣は美しく、また最近まで個人所有といった面白い経歴をもつ城です。犬山城

は戦国時代の戦の拠点として使われてきたようです。豊臣秀吉 vs 徳川家康の小牧長久手の戦いの舞台となりました。

筆者は豊臣側が犬山城に陣をとり、徳川側が小牧山城に陣をとったということを知って訪れました。犬山城の天守閣から小牧山城の場所を見つけた時には、戦の臨場感をとても感じることができました。（当時あそこに敵がいたわけですからね）ただ単に景色を眺めるだけではない楽しみができたと思っています。

◆GWは非日常を感じる機会

筆者は結構な頻度で城を訪れていましたが、最近減ってきました。GWを利用して筆者のパワースポットである城を訪れたいとおもいます。（俗にいうパワースポットではなく筆者の「思い込みのパワースポット」ですので誤解しないでくださいね。）

心と体が健康でないと良い仕事はできません。このGWという機会に自分なりのパワースポットを見つけてリフレッシュしてはどうでしょうか？

中小企業白書(2012年版)

4月27日本年度の中小企業白書が公表されました。簡単に紹介します。

昨年と同様、中小企業の海外需要の取り込みに関して記されています。「海外対応」は国策になったんだと思います。ただし、海外進出ばかりでなく、海外勢も日本に押し寄せてくるはずで、国内でも海外勢と競争することを認識し考えていかなければならないですね。

次に人材育成に関することです。企業には絶対と言っていいほど人材育成に関する課題があります。この白書も1章を割り当てて人材育成について特集されています。

また、「売れない時代」とはよく言ったもので、営業力・販売力の強化をしなければならないと考えている中小企業がかなりありました。新規顧客をいかに開拓していくのが企業共通の課題となっています。

詳細は次号で考察したいと思います。

http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H24/PDF/h24_pdf_mokuji.html

(中小企業庁 中小企業白書2012年版)

「本は考える為のサプリメント」(その13)

今月ご紹介する本は、ビジネスとは全く関係のない雑誌を紹介します。仕事とは関係のない世界を覗いてみるのはいかがでしょうか。前述した城を訪れることと同様、新たな発想が生まれるかもしれません。

また、この雑誌は毎月テーマが変わるので飽きることがありません。気に入ったテーマのときに買うというのもいいでしょう。今月の題材を城にしたのもこの本を紹介しようと思ったからです。

「男の隠れ家」(月刊誌)

この雑誌の使い方は、特集されているところを訪れる、掲載されていることを体験する、食するなど行動することに意味があります。いいな〜で終わってはだめです(もったいないです)。たしかに特集によっては性格が合わない、あまり好きではないといった体験するには厳しい特集がありますが、それはパスをすればいいのです。興味があることからスタートすればいいと思います。自分のパワースポットを見つけることができればすごく良いですね。

さらに、人生の肥やしとなる情報をこの雑誌から得ることができるかもしれません。

雑誌名は「男の隠れ家」ですが女性の方にもお勧めできません。

編集後記

中小企業白書(2012年版)の事例2-2-2で日本酒を輸出している企業(酒蔵)が紹介されています。「MIZUBASHO PURE(発泡性日本酒)」という製品です。一度飲んだことがあります。ほぼシャンパンです。シャンパンより酸味が少なく個人的には此の方が好きです。驚いたのはその日本酒が輸出されていること白書で知りました。このようなお酒が海外で評判を上げれば海外での日本酒需要が増し、同業他社も海外へという流れが加速するかもしれません。1つの動きが業界の活性化につながるかもしれないと感じました。

お酒といえば城とお酒(日本酒)の関係が面白いです。城あるところにお酒ありです。お城の近くには必ずと言っていいほど酒蔵があります。お殿様はお酒が好きということでしょうね。いつかエスクリエイト通信で日本酒特集をやってみようかな。(石)